

令和7年度 第2回静岡市中央卸売市場開設運営協議会次第

日 時 令和8年3月17日(火)
午前11時00分から
場 所 静岡市中央卸売市場
管理棟4階 大会議室

1 開会

2 協議・報告事項

(1) 市場の運営状況について

① 令和7年取扱量・取扱額 …資料-1

(2) 静岡市(中央卸売市場)の取り組みについて

① 令和7年度 事業報告 …資料-2

② 令和8年度 事業計画 …資料-3

③ 静岡市中央卸売市場業務条例及び施行規則の改正について…資料-4

3 その他

4 意見交換

5 閉会

静岡市中央卸売市場開設運営協議会委員・幹事名簿 (敬称略、順不同) 令和7年2月1日～令和9年1月31日

	役職名	所 属	職 名	氏 名
1	委員	静岡市農業協同組合	常務理事	大沼 光伸
2	委員	静岡県中小企業団体中央会	経営支援部長	住川 守雄
3	委員	静岡県経済農業協同組合連合会	みかん園芸部部长	川村 芳利
4	委員	しずおか市消費者協会	監事	松永 和子
5	委員	静岡産業大学	名誉教授	佐藤 和美
6	委員	静岡県経済産業部農業局農業戦略課	課長	平野 裕二
7	委員	静岡県経済産業部水産・海洋局水産振興課	課長	伊藤 円
8	委員	公益財団法人流通経済研究所	常務理事 主席研究員	折笠 俊輔
9	委員	静岡V F株式会社	代表取締役社長	関原 秀夫
10	委員	三共水産株式会社	代表取締役社長	杉田 安隆
11	委員	魚市静岡魚市株式会社	代表取締役社長	大川 知弘
12	委員	静岡市青果仲卸協同組合	理事長	赤井 毅
13	委員	静岡市中央卸売市場水産仲卸協同組合	理事長	平野 繁
14	委員	静岡青果物商業協同組合	理事長	望月 健一郎
15	委員	静岡市水産物商業協同組合	理事長	伊藤 公雄
	幹事	静岡市保健所	保健所長	田中 一成
	幹事	静岡市経済局	経済局次長兼商工部長	気田 敏弘
	幹事	静岡市経済局商工部中央卸売市場	参与兼中央卸売市場長	長島 正卓

	書記	静岡市経済局商工部中央卸売市場	市場長補佐兼総務係長	水野 智之
	書記	静岡市経済局商工部中央卸売市場	業務係長	大原 史明
	書記	静岡市経済局商工部中央卸売市場	施設係長	大谷 則隆
	書記	静岡市経済局商工部中央卸売市場	主査	梅原 澄子
	書記	静岡市経済局商工部中央卸売市場	主任主事	三田村 亮佑
	書記	静岡市経済局商工部中央卸売市場	主事	池ノ谷 尚樹

令和7年度 第2回静岡市中央卸売市場開設運営協議会席次表 令和8年3月17日

議長席 佐藤会長

入口

(敬称略)

大沼委員
住川委員
川村委員
松永委員
平野(裕)委員
折笠委員

関原委員
杉田委員
大川委員
赤井委員
平野(繁)委員
望月委員 (オンライン)

池ノ谷書記	大谷書記	水野書記	気田幹事 (オンライン)	長島幹事	三田村書記	梅原書記
-------	------	------	-----------------	------	-------	------

入口

傍聴席	傍聴席	傍聴席	傍聴席	傍聴席	傍聴席	傍聴席
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

静岡市中央卸売市場 令和7年取扱量・取扱額

資料-1

当市場の令和7年の取扱いについては、青果部・水産物部ともに昨年に比べ数量減、金額増となった。直近2年は物価高の影響を受けている。直近5年の傾向としては、数量減、金額は横ばいとなっている。

単位：数量 = kg、金額 = 円

区分	数量	比率		金額	比率	
		前年対比			前年対比	
青果部	7年	43,297,266	73.4%	13,050,849,691	39.2%	92.7%
						96.8%
	6年	46,713,268	72.7%	13,484,096,696	39.7%	96.2%
						106.1%
水産物部	7年	15,693,307	26.6%	20,268,507,981	60.8%	89.6%
						99.0%
	6年	17,517,651	27.3%	20,476,099,364	60.3%	99.0%
						101.0%
合計	7年	58,990,573	100.0%	33,319,357,672	100.0%	91.8%
						98.1%
	6年	64,230,919	100.0%	33,960,196,060	100.0%	96.9%
						103.0%

【青果部】

数量 = kg、金額 = 円

区分	令和7年		令和6年	
	数量	金額	数量	金額
野菜	37,425,119	9,838,324,400	40,487,172	10,222,315,368
前年対比	92.4%	96.2%	97.0%	107.8%
果実	5,487,945	3,030,484,994	5,860,185	3,080,310,128
前年対比	93.6%	98.4%	91.0%	101.4%
加工品	341,544	103,509,089	324,179	102,679,320
前年対比	105.4%	100.8%	101.9%	95.7%
その他	42,657	78,531,208	41,731	78,791,880
前年対比	102.2%	99.7%	78.6%	96.3%
合計	43,297,266	13,050,849,691	46,713,268	13,484,096,696
前年対比	92.7%	96.8%	96.2%	106.1%

【水産物部】

数量 = kg、金額 = 円

区分	令和7年		令和6年	
	数量	金額	数量	金額
生鮮水産物	4,502,582	5,743,852,912	5,057,735	5,861,560,722
前年対比	89.0%	98.0%	98.9%	101.2%
冷凍水産物	4,148,147	6,849,757,750	4,636,754	7,001,629,319
前年対比	89.5%	97.8%	100.4%	103.0%
加工水産物	5,902,973	6,966,984,628	6,510,424	6,876,893,808
前年対比	90.7%	101.3%	99.8%	99.0%
その他	1,139,605	707,912,691	1,312,739	736,015,515
前年対比	86.8%	96.2%	91.1%	98.9%
合計	15,693,307	20,268,507,981	17,517,651	20,476,099,364
前年対比	89.6%	99.0%	99.0%	101.0%



	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
前年比 (数量)	95.0	93.0	100.8	96.2	92.7
前年比 (金額)	94.4	98.5	103.9	106.1	96.8



	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
前年比 (数量)	95.4	86.0	96.8	99.0	89.6
前年比 (金額)	98.9	97.9	103.8	101.0	99.0

令和7年度 中央卸売市場事業会計（事業報告）

1. 歳入歳出予算

（単位：千円）

歳入		歳出	
科目	R7 予算現額	科目	R7 予算現額
(1) 使用料及び手数料	347,800	(1) 総務費	693,707
(2) 財産収入	800	① 総務管理費	688,462
(3) 繰入金	151,882	ア 一般管理費	400,095
(4) 繰越金	31,513	イ 施設管理費	287,567
(5) 諸収入	163,712	ウ 施設整備基金費	800
		② 業務費	5,245
		(2) 予備費	2,000
合計	695,707	合計	695,707

2. 歳入歳出予算に係る内訳及び主な事業等

【歳入】

(1) 使用料及び手数料	
① 市場使用料	85,706 千円
② 施設使用料	261,935 千円
③ 一般土地使用料	159 千円
(2) 財産収入	800 千円
(3) 繰入金	
① 一般会計繰入金	126,960 千円
② 基金繰入金	24,922 千円
(4) 繰越金	31,513 千円
(5) 諸収入	
① 預金利子	58 千円
② 雑入（電気・水道料等納付金分ほか）	163,654 千円

【歳出】

(1) 総務費	
① 総務管理費	
ア 一般管理費	
(ア) 給与	126,949 千円
(イ) 互助会交付金	117 千円
(ウ) 一般管理費	263,029 千円
・光熱水費、市場関係団体への負担金ほか	
(エ) 今後の市場のあり方検討事業費	10,000 千円
イ 施設管理費	
(ア) 施設管理運営費	212,567 千円
・場内警備業務、場内設備運転保守管理業務ほか	
(イ) 施設整備事業費	75,000 千円
・青果棟北側低温卸売場冷蔵設備2・3号機取替修繕ほか	
ウ 中央卸売市場施設整備基金費	800 千円
② 業務費	5,245 千円
(2) 予備費	2,000 千円

令和7年度 主要事業一覧

1 一般管理事業

市場機能を維持するため、市場事業の庶務的経費、市場の光熱水費及び市場協力会等に対する負担金を支出した。

- ・市場運営に係る庶務事務
- ・消耗品費、光熱水費等の支払に係る経理事務
- ・市場関係団体への負担金の支出

2 今後の市場のあり方検討事業

卸売市場を取り巻く環境変化を的確に捉え、改めて諸課題を整理し、当市場の強みや特長を活かすことのできる実証事業等を通じた成功事例を創るとともに、中長期的な成長を見込む「攻めの戦略」を作成。これに基づく実証事業を行い、場内事業者の身近な問題に着目し、問題解決を図ると共に、短期的な成果を導き出すことによる成功体験を実証。

3 施設管理運営事業

市場施設の機能維持を図るため、設備の保守点検及び小破修繕を実施した。

4 施設整備事業

市場施設の機能維持を図るため、市場施設及び設備を計画的に更新した。

5 業務管理事業

取引等の市場業務の適正化を図るため、静岡市中央卸売市場業務条例に基づき市場関係者の指導及び監督などを行うとともに、当市場への地域理解促進のため開放型市場への取り組みを進めた。

- ・仲卸業者への支援：経営診断、個別相談業務など
- ・取扱実績の把握：販売原票システム保守管理など
- ・取引等の監督：市場監視業務、市場内事業者への立入検査など
- ・開放型市場への取り組み：市場まつり、料理教室、市場見学

静岡市中央卸売市場事業者持続化推進事業補助金

市民・消費者の食生活に欠かすことのできない、水産物・青果物などの生鮮食料品等を安全・安心に、さらには適正な価格形成による安定的な供給といった市場機能の向上や持続化を図る。

市場の現状		課題			
<p>開設から約50年が経過する市場であり、水産物部においては、卸売業者2社、仲卸業者13社、青果部においては、卸売業者1社、仲卸業者11社の事業者で構成されている。県中部を中心に生鮮食料品等を供給しているが、昨今の社会情勢の変化に伴い、食料品の流通や消費の多様化等による取扱量及び取扱高の減少が続いている。また、施設の老朽化が著しい状況である。</p>		<p>施設の維持管理は、施設使用料等による収入により行っているものの、取扱量及び取扱高の減少が続いていることで市場内関係者の経営状況は厳しい状況であり、施設使用料等の収入の増加が難しい状況にある。市場内関係者の持続的な運営を図るため、取扱量及び取扱高を増加に向けた集荷力の向上や社会情勢への対応を支援することによる現状の経営状況や取組方法の改善等が求められる。</p>			
補助対象者		<p>静岡市中央卸売市場内に事業所を有するもの。 (卸売業者、仲卸業者、関連事業者、関連事業者及びそれらのグループ)</p>			
補助対象事業		補助対象経費		補助額等	
<p>市場機能の向上や持続化を図ることを目的とし、事業の効率化、経営状況や取組方法の改善等に資する事業で、市長が認めるもの。</p>		<p>補助事業に要する経費のうち、消耗品費、印刷製本費、購入費、処分費、報償費、手数料、委託料、使用料及び賃借料。</p>		<p>[補助額] 補助対象経費の1/2 (ただし、1,000千円を上限とする)</p>	

交付スケジュール(予定)	5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半
要綱の制定																						
市場運営委員会で報告																						
事業者へ周知																						
補助金交付申請書の一次受付																						
市による交付一次決定																						
補助金交付申請書の二次受付																						
市による交付二次決定																						
市による補助金額の確定																						
補助金請求書の提出																						
市からの補助金の交付																						

令和7年度 事業者持続化推進事業補助金 事業一覧

<予算額> 5,000,000円

<交付決定額> 4,999,200円

No.	部	内容	期待される効果等
1	水産物部	冷凍マグロ尾部切断機導入	作業時間の短縮によりセリにおける取扱数量の増加、すなわち販売数量の増加に繋がる。また、切断面が常に滑らかで均にすることは客の購買意欲を刺激し、販売単価の上昇も見込め、マグロ1本あたりの平均販売単価の向上が期待できる。
2	水産物部	取引の受発注管理用PCの更新	新規のパソコンを導入し、受発注や在庫管理に業務の処理を迅速かつ正確に行える体制を構築することにより、業務効率化が図られるとともに取扱量の増加に対応可能となる。また、蓄積した販売データを活用することで新規販売先の開拓もしくは既存取引先との取引拡大につなげることで、売上増加等が期待される。
3	水産物部	買い荷運搬用台車キャスター更新	積載重量の増加により、一度に運搬可能な商品の量が拡大し、販売対応力の向上に繋がる。また、操作性が改善され、作業効率の向上及び従業員の負担軽減・作業時間短縮にも繋がる。その他、安全性の向上により、事故や商品の破損リスクが低減し、品質保持に寄与することで、結果、販売力および収益力の強化が期待される。
4	青果部	冷蔵施設の修繕	商品の鮮度維持・品質安定が可能となり、販売単価の向上に繋がるとともに、品質の安定供給により取引先からの信頼が高まり、販売機会の拡大が期待できる。また、冷却効率の改善による電力コストが抑制されるとともに、長期的に安定した販売基盤の確保が期待できる。
5	水産物部	加工所の整備	加工所の整備により、衛生的で効率的な加工・仕分け体制を構築することができる。これにより、増加する取扱量に柔軟な対応が可能となり、安定した商品供給を実現へと繋がる。また、品質保持や納品スピードの向上を通じて既存取引先との信頼が強化されるとともに、新規販売先の獲得を促進し、売上増加と事業基盤の安定につながることを期待できる。
6	青果部	搭乗式床面清掃機修繕	市場内の塵埃や清掃機のタイヤ粉塵の商品への付着を防止することで、商品の品質保持及び衛生環境の向上に繋がる。また、清掃作業の効率が改善され、快適な売場環境の維持が期待できる。
7	水産物部	マグロ解体作業用包丁導入	大きな出刃包丁及び侍のような刀の購入によりマグロ解体ショーの演出を強化し、客の購買意欲の向上、ショー及び販売を商品化することによる販売価格の向上を図ることで利益増加が期待できる。
8	関連	冷凍車購入	温度管理を徹底した状態で豆腐製品の配送が可能となり、品質保持と鮮度維持が実現できる。これにより既存取引先への販売拡大に加え、新規取引先の開拓にも繋がり、売上向上が期待できる。
9	水産物部	超低温冷凍設備導入	大口対応ができ荷主との価格交渉がしやすくなり集荷力の強化に繋がるとともに、現在、毎日自社便にて清水の営業冷凍庫に入庫している作業の軽減や運送会社への委託料の削減といったランニングコストの削減が図られる。また、自社内で在庫を確保できることによる販売力の強化が期待できる。
10	水産物部	衛生・品質管理高度化のための設備導入事業	省エネ性能管理機能を備えた新型コールドテーブルへ更新することにより、庫内温度の均一化や細やかな温度管理が可能となり、商品の種類や仕入量に応じた最適な鮮度保持が実現できる。これらにより、精度の高い鮮度保持・品質安定によるアンテナショップ来店者の満足度とリピート率が向上するとともに、市場直送の強みを訴求することで、卸売市場のブランド価値を高め、結果として市場取扱量・販売量の増加が期待できる。
11	関連	サイトリニューアル事業	最新デザインと情報で企業の信頼性を高めることによる企業イメージを向上させ、新規顧客の獲得と人事採用活動の強化が期待される。
12	水産物部	採用・販促用チラシ作成事業	県外企業への営業活動時に自社を的確に伝えられることで、新規販路の開拓と取引拡大が可能となるとともに、会社案内を通じて当社の理念・魅力を発信し、若手人材の応募促進に繋がる。また、営業活動の効率化と企業ブランド価値の向上を実現し、市場機能の持続的発展への寄与が期待できる。

施設整備事業費（令和7年度）→今年度内に全事業完了を予定

予算額 75,000 千円→執行額 73,029 千円 (97.4%)

① 青果棟北側低温卸売場冷蔵設備 2・3号機取替修繕

- ・ 青果棟卸売場内に設置された生鮮食料品を低温管理するための機器。
- ・ 設置後 25 年が経過した冷蔵設備（室外機、室内機）を更新する。
- ・ 同設備 1 号機は令和 6 年度に更新済。



室外機（スクロール冷凍機）



室内機（ユニットクーラー）

② 積算電力量計取替修繕

- ・ 各施設使用者が使用した電気使用量を計測する機器。
- ・ 計量法により 10 年ごとの機器更新が義務付けられ、毎年度順次 50 台前後を更新。

外観(イメージ)
更新前(機械式)



有効期限

更新後(電子式)



③ 非常用放送設備修繕

- ・ 火災発生時の警報と避難誘導を行うための消防用設備。日常の業務用放送でも利用。
- ・ 設置後 31 年が経過し、直近の消防用設備点検にて一部機能の不具合が指摘されている。



ラック型非常用放送設備

④ 汚水処理場 2 号曝気槽送風機取替修繕

- ・ 汚水処理場曝気槽内で活動する好気性微生物に空気を送風する機器。
- ・ 設置後 34 年が経過し、保守点検にて故障の起因となる現象を確認、機器の取替の必要性が指摘されている。



送風機

⑤ 工業用水揚水ポンプ取替修繕

- ・ 地上にある受水槽内の工業用水を冷蔵庫棟屋上にある高架水槽に圧送するための機器。
- ・ 設置後 49 年が経過し、保守点検にて故障の起因となる現象を確認、機器の取替の必要性が指摘されている。



揚水ポンプ

⑥ 青果卸倉庫棟外 3 棟給水管等修繕

- ・ 青果の卸倉庫棟、仲卸倉庫棟、加工所及び冷蔵庫棟に給水するための配管等を取替える。
- ・ 設置後 49 年が経過し、漏水や錆水等の事象を確認、更なる進行によって市場活動停止の恐れがある。



青果卸倉庫棟



冷蔵庫棟

静岡市中央卸売市場 市場まつり

- 開催日時：令和7年11月16日
7:30~10:30
- 入場者数：約8,000人

新鮮な食材と楽しいイベントが盛りだくさん!

静岡市中央卸売市場 市場まつり

2025.11.16日

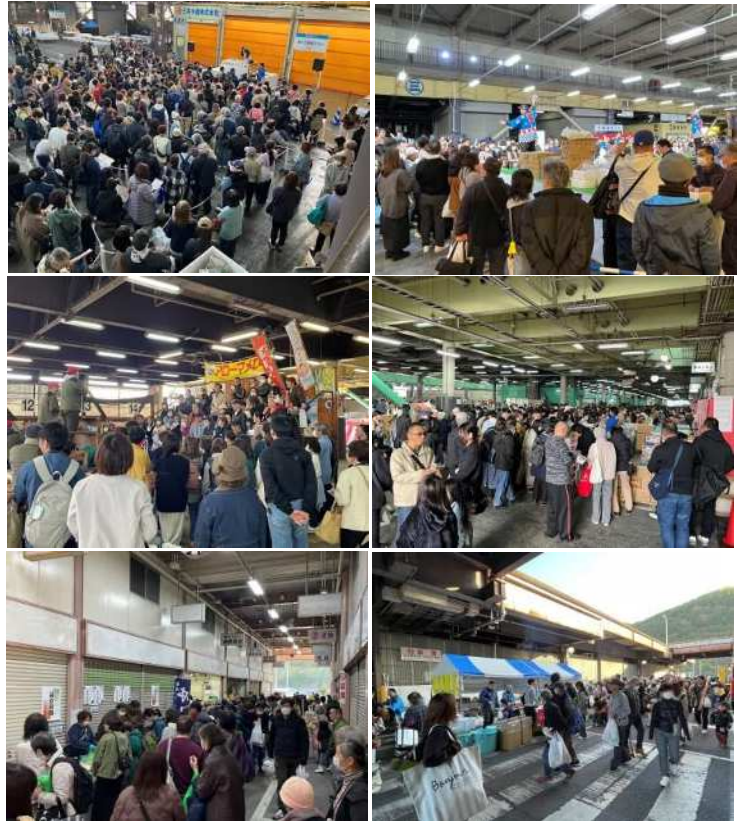
7:30~10:30
(6:30頃開門予定 ※道路の混雑状況に応じ開門時間が早まる可能性があります。)
売り切れ次第終了・雨天決行

静岡市葵区流通センター 1-1 (静岡市中央卸売市場内)

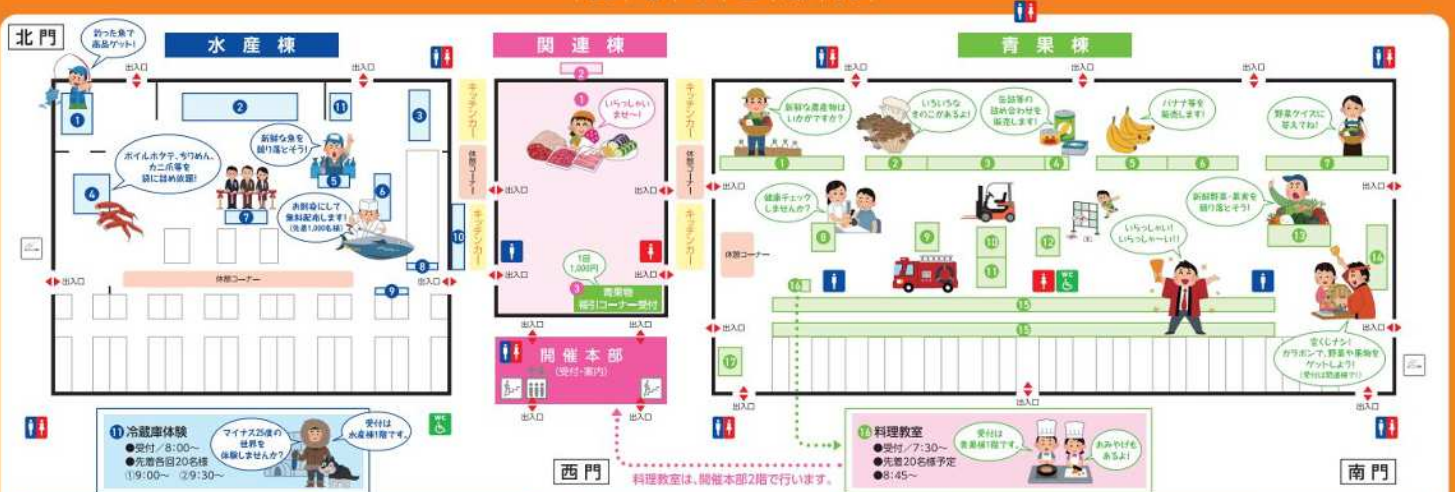
ご来場の際は、保冷機能付きマイバッグをご用意ください!

※数に限りがある場合がございます。品切れの際はご容赦ください。
※イベントの入場はできません。
※地震発生時、荒天時等の開催については、ホームページをご確認ください。
※当日は、周辺道路が大変込み合いますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

主 催 / 静岡市・静岡市中央卸売市場運営委員会
事務局 / 静岡市中央卸売市場まつり実行委員会
お問い合わせ先 / TEL 054-263-3413
<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2675/s012367.html>



会場のご案内



水産棟		
1 魚釣りゲームコーナー [8:30~]	5 お魚模擬せりコーナー [9:00~]	9 金印物産販売コーナー 新感覚、冷凍凍結
2 水産物即売コーナー	6 まぐろ解体ショー [8:30~]	7 丸六食品販売コーナー 練り製品等
3 親子魚のさばき方教室 [9:30~] (受付/7:30~、先着順20組)	8 オープニングセレモニー [7:10~]	10 露店コーナー さんまの塩焼き、焼きいか、各種焼物
4 魚話の放題コーナー ※数量に限りがあります。	11 井物販売コーナー まぐろ丼	11 冷蔵庫体験受付 ※詳細は上記をご覧ください。

関連棟
1 即売コーナー 乾物、食肉製品、雑穀、漬物、花等。
2 露店コーナー フランクフルト等。
3 青果物 福引コーナー受付

青果棟			13 野菜・果実模擬せりコーナー [9:30~] (受付/9:00~)
1 JAコーナー JA経済連・JA静岡市・JA大井川	2 輸入青果販売コーナー バナナ・甘栗等	7 消防団展示コーナー 消防車等	12 青果物福引コーナー ※数量に限り、受付を済ませてください。
3 ホトメ販売コーナー キノコ類	8 八百屋さん販売コーナー お弁当・グレープフルーツサンド等	10 トヨタ&F静岡展示コーナー フォーサイト等	13 青果物即売コーナー
4 地場産品販売コーナー	9 ペジフルセブン 野菜ソムリエによるクイズ出題	11 静岡トヨタ自動車展示コーナー bZ4X (電気自動車) 等	14 料理教室受付 ※詳細は上記をご覧ください。
5 ホテイアオイ販売コーナー 各種出註	12 明治安田生命コーナー 血圧年齢測定	12 静岡銀行岩谷エリア ストラックアウト等	15 軽食販売コーナー おにぎり・コロッケ等

※時間表示のないイベントは、7:30からの開催となります。 ※各イベントは、商品がなくなり次第終了いたしますのでご了承ください。 ※会場のレイアウト、イベント内容は入場状況等により変更になる場合もあります。

令和7年度 市場料理教室・市場見学 開催実績

市場料理教室 開催実績

- ・ R7.5.24 「青果棟見学と丸ごとメロンケーキ作り（親子）」
- ・ R7.6.28 「旬の「しらす」市場の専門家の話と料理」
- ・ R7.7.26 「市場の専門家が教える鱈のさばき方（親子）」
- ・ R7.8.23 「まぐろの富士山丼を作って食べよう（親子）」
- ・ R7.9.27 「シャインマスカット・巨峰でタルト作り（小学生）」
- ・ R7.10.25 「ジャック・オー・ランタンを作ろう（親子）」
- ・ R7.11.22 「市場の専門家が教えるブリの話とクッキング」 ※中止
- ・ R7.12.20 「いちごのクリスマスケーキ作り（小学生）」
- ・ R8.1.24 「市場で節分の恵方巻を作ろう」
- ・ R8.2.28 「市場の新鮮食材を使ってひな祭り寿し（小学生）」

計9回開催 146名参加 ※1回中止（11月）

開催予定

- ・ R8.3.28 「市場の専門家が教える旬の「ホッキ貝」」



市場見学 開催実績

- ・ R7.8.16 「静岡市東部生涯学習センター共催夏休み子供市場見学」
- ・ R7.8.18 「興津少年教室親子市場見学」
- ・ R7.8.21 「静岡市東部生涯学習センター共催夏休み子供市場見学」
- ・ R7.9.6 「学校法人鈴木学園中央調理製菓専門学校静岡校市場見学」
- ・ R7.9.20 「一般公募による市場見学」
- ・ R7.10.18 「一般公募による市場見学」
- ・ R7.11.12 「江蘇凌家塘(こうそりんかとう)市場発展有限公司市場見学」

計7回開催 135名参加



場内ルールの改正について

社会環境等の変化を受ける中で、当市場においても時代に呼応した変革をしていく必要があると共に、今後控える再整備を念頭に置いた場内ルールの改正と順守徹底を図っていく必要がある。令和7年度は、地上駐車場の有料化と市場使用料の施設使用料への一本化に向けて、課内PTを立ち上げ検討を実施。地上駐車場の有料化については、来年度より施行することが決定した。

No.	取組内容	進捗状況
1	使用料の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の使用料（売上高割とを面積割）を一本化する検討の実施。物価が高騰しているにもかかわらず、取扱高下落が令和6年度に比べ大きく、前年比－2.3%、青果だけでみると－5.8%であった。一本化を行うことで、収入の下落を止めて市場事業会計の安定的な収支の実現を行うことができると考えられる。 ・ 今後は、「食と農システム」の進捗に合わせた再整備の検討に移行する段階で、使用料の全面改訂に係る検討を進めていく。
2	駐車場の有料化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内及び場内の合意形成をふまえ、令和8年2月定例会にて条例改正を実施し、令和8年4月1日より施行予定。 ・ 地上駐車場の使用料は、屋上駐車場との均衡を図り、一区画：月額1,100円（税込）とする。ただし、売買参加者等については、従前どおり無料開放とする。 ・ 今後は、定期的な巡回パトロール等を実施し、適正な駐車場の運用が成されるよう、ルール順守等の指導を行っていく。
3	パレット・コンテナの取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度11月に青果卸売会社が2名「はい作業主任者の資格」を取得しパレットを高さ2m以上積む事が可能となり青果棟内のパレットを整理できた。 ・ 場内のパレット置場に区画線を引きパレット置き場の案内を設置し各卸売業者管理のもと整頓され運営されている。 ・ 定期的な巡回パトロール等を実施し、駐車場内に置かれていたパレット・コンテナを無くすことができた。今後も適正な運用が成されるよう、ルール順守等の指導を行っていくと共に、新たに、卸売場内のパレットの整理等に係る検討を進めていく。
4	フォークリフト・モトラの安全運転ルールの策定（11項目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度、フォークリフトによる事故が続いたため、令和8年1月8日の市場運営委員会にて、11項目の安全運転ルールを策定。 ・ 場内事業者等各社へ配付し、ルールの周知徹底を図った。

令和8年度 中央卸売市場事業会計（事業計画）

1. 歳入歳出予算(案)

(単位：千円)

歳入		歳出	
科目	R8 予算額	科目	R8 予算額
(1) 使用料及び手数料	356,497	(1) 総務費	711,400
(2) 財産収入	800	① 総務管理費	706,961
(3) 繰入金	166,495	ア 一般管理費	416,301
(4) 繰越金	21,000	イ 施設管理費	289,860
(5) 諸収入	168,608	ウ 施設整備基金費	800
		② 業務費	4,439
		(2) 予備費	2,000
合計	713,400	合計	713,400

2. 歳入歳出予算（案）に係る内訳及び主な事業等

【歳入】

(1) 使用料及び手数料	
① 市場使用料	85,784 千円
② 施設使用料	270,554 千円
③ 一般土地使用料	159 千円
(2) 財産収入	800 千円
(3) 繰入金	
① 一般会計繰入金	128,800 千円
② 基金繰入金	37,695 千円
(4) 繰越金	21,000 千円
(5) 諸収入	
① 預金利子	247 千円
② 雑入（電気・水道料等納付金分ほか）	168,361 千円

【歳出】

(1) 総務費	
① 総務管理費	
ア 一般管理費	
(ア) 給与	128,801 千円
(イ) 開設運営協議会委員報酬	345 千円
(ウ) 互助会交付金	101 千円
(エ) 一般管理費	277,054 千円
・光熱水費、市場関係団体への負担金ほか	
(オ) 今後の市場のあり方検討事業費	10,000 千円
イ 施設管理費	
(ア) 施設管理運営費	241,860 千円
・場内警備業務、場内設備等運転保守管理業務ほか	
(イ) 施設整備事業費	48,000 千円
・青果棟南側低温卸売場冷蔵設備取替修繕ほか	
ウ 中央卸売市場施設整備基金費	800 千円
② 業務費	4,439 千円
(2) 予備費	2,000 千円

* 令和8年2月定例会において承認（3月19日付）予定

令和8年度 主要事業一覧

1 一般管理事業・・・14頁

市場機能を維持するため、市場事業の庶務的経費、市場の光熱水費及び市場協力会等に対する負担金を支出する。

- ・市場運営に係る庶務事務
- ・消耗品費、光熱水費等の支払に係る経理事務
- ・市場関係団体への負担金の支出

2 今後の市場のあり方検討事業・・・15頁

卸売市場を取り巻く環境変化を的確に捉え、改めて諸課題を整理し、当市場の強みや特長を活かすことのできる実証事業を通じた成功事例を創るとともに、中長期的な成長を見込む「攻めの戦略」を作成。これに基づく実証事業等を行い、場内事業者の身近な問題に着目し、問題解決を図ると共に、短期的な成果を導き出すことによる成功体験を実証する。

3 施設管理運営事業・・・16頁

市場施設の機能維持を図るため、設備の保守点検及び小破修繕を実施する。

4 施設整備事業・・・17～19頁

市場施設の機能維持を図るため、市場施設及び設備を計画的に更新する。

5 業務管理事業・・・20頁

取引等の市場業務の適正化を図るため、静岡市中央卸売市場業務条例に基づき市場関係者の指導及び監督などを行うとともに、当市場への地域理解促進のため開放型市場への取り組みをより深化させる。

- ・仲卸業者への支援：経営診断、個別相談業務など
- ・取扱実績の把握：販売原票システム保守管理など
- ・取引等の監督：市場監視業務、市場内事業者への立入検査など
- ・開放型市場への取り組み：市場まつり、料理教室、市場見学

事業名	一般管理費 [政策]				
01 款 総務費 01 項 総務管理費 001 目 一般管理費					
	予算額(千円)	決算額(円)	不用額(円)	執行率(%)	
8 年度	416,301				
7 年度	400,095				
6 年度	403,496	394,183,523	9,312,477	97.7	
1 目的・概要	市場運営に係る基幹的業務を実施し、市場機能を維持する。				
2 根拠法令等	卸売市場法（農林水産省）、静岡市中央卸売市場業務条例				
3 事業内容					
ア 事業の概要（毎年）					
<p><概要> ・ 消耗品費、光熱水費等の支払に係る経理事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市場運営に係る庶務事務 ・ 市場関係団体への負担金の支出 ・ 市場会計に係る消費税の申告及び納付 					
イ 事業実施によって得られた効果・成果（令和6年度）					
市場運営に係る庶務事務及び市場関係団体への負担金の支出等の市場運営に係る基幹的業務を実施し、市場機能を維持した。					
ウ 課題及び懸案事項（毎年）					
運営経費の主要財源となる市場使用料収入が年々減少傾向にある中、収納管理を一層徹底する必要がある。					
エ 今後の展望（令和8年度～）					
継続（光熱水費及び燃料費の高騰による支出金額の高騰を注視）					
費 目	予算額(千円)	決算額(円)	備考		
給料	58,762		市場の職員の人件費		
職員手当等	39,818		"		
共済費	19,740		"		
報酬	6,123		"		
職員手当等	2,497		"		
共済費	1,708		"		
旅費	153		"		
報酬	345		開設運営協議会委員報酬		
負担金、補助及び交付金	101		職員互助会負担金		
旅費	657		費用弁償、管内、管外旅費		
需用費	213,589		消耗品、燃料費、光熱水費等		
役務費	560		通信運搬費、保険料等		
委託料	5,726		収納システム保守管理委託		
使用料及び賃借料	769		コピー機器賃借料等		
備品購入費	20		備品の更新		
負担金、補助及び交付金	65,356		市場関係団体への負担金等		
公課費	377		消費税、重量税		
(令和8年度) 計	416,301				

事業名	一般管理費〔政策〕今後の市場のあり方検討事業費				
01 款 総務費 01 項 総務管理費 001 目 一般管理費					
	予算額(千円)	決算額(円)	不用額(円)	執行率(%)	
8 年度	10,000				
7 年度	10,000				
6 年度	10,000	9,984,260	15,740	99.8	
1 目的・概要	市民等にもその役割と重要性を再認識してもらうとともに、当市場の強みや特長を活かすことのできる将来像を描き、その実現に向けた「将来構想」を示すことで、市民に必要な安全・安心な生鮮食料品等を安定的に供給していくこと。				
2 根拠法令等	卸売市場法（農林水産省）、静岡市中央卸売市場業務条例				
3 事業内容					
ア 事業の概要					
＜概要＞					
静岡市場の現状把握及び分析を進めるとともに、「市場将来構想検討委員会」による市場の将来像について審議・検討することで、当市場施設のあり方（施設整備の方向性）を明らかにしていく。					
（１）現行の経営展望を活かすとともに、市場の物流機能の強化・施設機能の充実等を含めた「計画の立案」					
（２）市場施設のあり方を整理し、再整備の検討を進めていくための「指針づくり」					
イ 事業実施によって得られた効果・成果（令和7年度）					
令和6年度に引き続き、ソフト面での機能強化を図ることとし、新たに「事業者持続化推進補助金」を創設し、事業者自らが事業の持続化及び課題解決に向けた取組に対する支援を行うことができた。					
ウ 課題及び懸案事項					
◎令和4年度に、将来構想検討委員会を臨時的な附属機関（任期は令和5年10月末日まで）として立ち上げ、全6回の審議を行い、令和5年10月6日付で市長あて以下の3点の提言を受けた。					
①中央卸売市場が有する公共性を果たすとともに、時世に応じた考え方も取り入れ、現在の立地を活かした再整備を検討していくこと。					
②静岡市民への必要量の供給の視点から、適正な規模・配置等を進めるとともに、場内事業者の経営力向上に向け、場内事業者との建設的な協議・調整を進めていくこと。					
③前記に基づく適時適切な予算措置を講じていくこと。					
◎将来における、人口の推移や生鮮食料品の需要縮小をふまえると、現状の延長線となる取引活動のままでは、取扱高は減少する一方であり、持続的な市場経営はもとより、再整備の費用に見合った投資効果が望めないと見込まれる。					
◎施設の再整備を実施することになった暁には、これに伴う市場使用料の増額が見込まれるため、場内事業者の経営力向上が不可欠であり、ハード・ソフトの両面から、従来の事業・機能の立て直しと新規アプローチの両輪による持続的な市場経営への検討が今後生き残っていく肝となる。					
エ 今後の展望（令和8年度～）					
静岡市における「食」の生産、流通、消費に関する施策については、農業振興、卸売市場、学校給食など各分野の目的に基づいて実施されていて、それぞれにおいてハード面、ソフト面で様々な課題が発生しており、これらには施設の老朽化や作業の効率化など共通する課題も多いことから、個別に対策を講じるのではなく、全体最適なシステムを構築する必要がある。					
このことから、各課題に対して個別解決や連携して補うのではなく、全体最適することでコストを抑えつつ相乗効果を生み出すため、「静岡市食と農システムPT」で詳細を検討している。					
費 目	予算額(千円)	決算額(円)	備考		
委託料	5,000		「攻めの戦略」に基づく実証事業		
負担金・補助及び交付金	5,000		事業持続化推進補助金		
(令和8年度)計	10,000				

事業名	施設管理費[政策] 施設管理運営費				
01 款 総務費 01 項 総務管理費 02 目 施設管理費					
	予算額(千円)	決算額(円)	不用額(円)	執行率(%)	
8 年度	241,860				
7 年度	212,567				
6 年度	225,630	211,434,586	14,195,414	93.7	
1 目的・概要	市場施設の機能維持を図るため、必要な施設の小破修繕及び設備の保守点検等を行う				
2 根拠法令等	任意				
3 事業内容					
ア 事業の概要（毎年）					
<p><概要> ・施設、設備の小破修繕及び保守点検の実施</p> <p>・警備、清掃、設備の運転保守管理等の委託契約の締結</p> <p>・その他、施設管理上必要となる消耗品、原材料等の調達</p>					
イ 事業実施によって得られた効果・成果（令和7年度）					
市場機能が維持されることで、事業者間での市場取引が円滑に行われ、市民に生鮮食料品を安定供給している。					
ウ 課題及び懸案事項					
施設設備の老朽化と人件費・資材費の高騰等によって、委託や修繕などの維持管理にかかる経費が増加傾向にあり、収支改善に向けた抜本的な対策が急務となっている。					
エ 今後の展望（令和8年度～）					
市場再整備の動向も踏まえつつ、メンテナンスの容易さや省エネ効果等を踏まえた機器の導入検討や、小破修繕や自主点検等の内製化によるコスト削減等に努めることで市場会計の収支の均衡を図り、施設機能の維持に必要な委託や修繕等の業務を適切に実施する。					
費 目	予算額(千円)	決算額(円)	備考		
旅費	191		施設整備調査等		
需用費	62,216		消耗品、燃料費、維持修繕費等		
役務費	7,331		法定点検、調査等		
委託料	153,214		警備、清掃、場内設備の運転保守管理、設備点検等		
使用料及び賃借料	18,295		リース代（空調機、冷蔵設備）等		
原材料費	501		修繕で使用する原材料等		
備品購入費	112		クランプ電流計等		
(令和8年度) 計	241,860				

事業名	施設管理費[政策] 施設整備事業費				
01 款 総務費 01 項 総務管理費 02 目 施設管理費					
	予算額(千円)	決算額(円)	不用額(円)	執行率(%)	
8 年度	48,000				
7 年度	75,000				
6 年度	51,346	38,038,000	13,308,000	74.1	
1 目的・概要	市場施設の機能維持を図るため、市場施設及び設備を計画的に更新する。				
2 根拠法令等	任意				
3 事業内容					
ア 事業の概要（毎年）					
＜概要＞ 市場施設及び設備を計画的に更新する。					
イ 事業実施によって得られた効果・成果（令和7年度）					
市場機能が維持されることで、事業者間での市場取引が円滑に行われ、市民に生鮮食料品を安定供給している。					
ウ 課題及び懸案事項					
施設機能の維持については、再整備事業の進捗状況、市場取引への影響、市場事業会計の収支等をふまえ、市場内事業者と実施内容や時期等について協議しながら、計画的に修繕を実施している。					
一方、施設機能の高度化については、社会情勢の変化や新たな需要に対応していくために必要だと強く認識しつつも、平成30年度に策定した経営展望の基本方針において拡充検討するとして具体的事業内容について検討したが、令和2年度に策定した経営戦略にて今後の市場事業会計の収支予測を精査した結果、「投資・財政計画（収支計画）の収支ギャップが生じないようにするため本計画に反映できない。」として、現時点でも事業実施の見通しがついていない。					
市場が求められる役割を今後も果たしていくためには、老朽化した施設設備への対応と併せて、機能の高度化は不可欠であるため、現在策定中の攻めの戦略を含む市場将来構想において今後の施設整備全体の方向性を明らかにし、短期と中長期それぞれにおいて、適切に事業を計画、実施していく必要がある。					
エ 今後の展望（令和8年度～）					
短期的には、現在の市場機能を維持するために必要な計画的修繕及び緊急的修繕を適切に実施する。					
中長期的には、現在「静岡市食と農システムPT」において検討されている今後の市場のあるべき姿の骨子が示された段階で、必要な機能等を具現化した新市場施設整備計画を策定する。					
《令和8年度に予定される主な修繕》					
① 青果棟南側低温卸売場冷蔵設備取替修繕					
② 積算電力量計取替修繕					
③ 汚水処理場調整槽揚水ポンプ修繕					
④ 工業用水流量計取替修繕					
⑤ 汚水処理場調整槽送風機1号機取替修繕					
費 目	予算額(千円)	決算額(円)	備考		
需用費	48,000				
(令和8年度)計	48,000				

施設整備事業費（令和8年度予定事業） 予算額 48,000 千円

① 青果棟南側低温卸売場冷蔵設備取替修繕

- ・ 青果棟卸売場内に設置された生鮮食料品を低温管理するための機器。
- ・ 設置後 26 年が経過した冷蔵設備（室外機、室内機）を更新。
- ・ 同設備は青果棟の北側と南側に各 3 室で計 6 室が設置されるが、令和 6 年度から毎年度 2 室ずつ更新しており、今回で全 6 室の設備更新が完了。



室外機（スクロール冷凍機）



室内機（ユニットクーラー）

② 積算電力量計取替修繕

- ・ 各施設使用者が使用した電気使用量を計測する機器。
- ・ 計量法により 10 年ごとの機器更新が義務付けられ、毎年度順次 50 台前後を更新。

外観(イメージ)
更新前(機械式)



有効期限



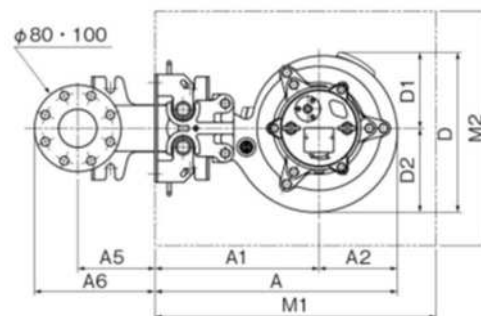
更新後(電子式)



③ 汚水処理場調整槽揚水ポンプ修繕

- ・ 浄化処理の過程で発生した汚泥を定量タンクに送るためのポンプ。
- ・ ポンプと配管の接続部から漏水が確認されたため、ポンプと配管の両方を更新。

※出典：鶴見製作所 WEB カタログ



④工業用水流量計取替修繕

- ・市場で使用する工業用水の流量を計測するための機器。
- ・計量法により8年ごとの機器更新が義務付けられ、
次年度中に有効期限を経過するため機器を更新。



⑤汚水処理場調整槽送風機1号機取替修繕

- ・調整槽で浄化活動を行う好気性微生物に必要な空気を送るための機器。
- ・平成元年の設置から36年が経過。
保守点検で取替の必要性が指摘されている
ため機器を更新。



事業名	業務運営費 [政策]		業務管理経費	
01 款 総務費 02 項 業務費 01 目 業務管理経費				
	予算額(千円)	決算額(円)	不用額(円)	執行率(%)
8 年度	3,055			
7 年度	3,580			
6 年度	3,859	2,965,702	893,298	76.9
1 目的・概要	静岡市中央卸売市場業務条例に基づき取引の適正化を図り、市場関係者の指導育成及び監督に要する経費			
2 根拠法令等	静岡市中央卸売市場業務条例、同施行規則			
3 事業内容				
ア 事業の概要（毎年）				
＜概要＞ 市場関係者に係る許認可等、卸・仲卸業者の財務状況等検査、経営診断等の実施				
イ 事業の対象				
市場卸売業者、仲卸業者、買受人等市場関係者				
ウ 事業実施によって得られた効果・成果（令和7年度）				
<ul style="list-style-type: none"> 卸売業者財務状況調査業務では、公認会計士に委託し、卸売業者1社に対し、財務内容の把握、会計帳簿の検査等、経営に関する改善指導や財務検査を実施した。また、開設者による業務運営に係る検査を合わせて行うことにより、業者に対し財務・業務の両面における検査を実施し、是正・経営改善へとつながった。 仲卸業者経営診断業務では、委託した中小企業診断士により経理・財務・金融に関して市場仲卸業者全23社に対し経営内容を分析・診断を実施した。また、その診断結果にもとづき実施した個別相談業務では、業務の適正かつ健全な運営を確保するために必要と認める仲卸業者6社に対し、委託した中小企業診断士によりヒアリングを行い、財務状況・経営課題を把握し、経営改善に向けたアドバイスを実施した。 				
エ 課題及び懸案事項				
令和2年の卸売市場法改正に伴う静岡市中央卸売市場業務条例の改正により、開設者(市)が卸売業者の業務許可権限者となったことから、開設者が卸売業者の適切かつ健全な運営を監督していくことが必要となり、条例第60条の規定に基づき令和2年度より卸売業者に対して業務検査を実施している。財務に関する検査では、専門的な知識を持った公認会計士に委託し、精度の高い検査が実施できているが、業務に関する検査については、市職員が行うため、経験やスキルの不足が課題となっている。このため、農林水産省が実施する検査研修を受講するなど、検査職員の継続的なスキル向上が必要となっている。				
オ 今後の展望（令和8年度～）				
<ul style="list-style-type: none"> 仲卸業者経営診断業務及び個別相談業務は、継続実施により仲卸業者の経営改善へつなげていく。 卸売業者財務状況調査業務は、継続実施により卸売業者の業務改善へつなげていく。 				
費 目	予算額(千円)	決算額(円)	備考	
報償費	119		賞賜金	
旅費	487		管外旅費（買出人調査、出荷要請等）等	
需用費	312		消耗品費	
役務費	166		保険料（料理教室損害保険料等）等	
委託料	1,627		仲卸業者経営診断業務、卸売業者財務状況調査業務 等	
使用料及び賃貸料	320		販売原票等電子報告化システム機器等賃借料	
備品購入費	24		備品	
(令和8年度)計	3,055			

静岡市中央卸売市場業務条例及び施行規則の改正について

● 施行日 令和8年4月1日

● 改正内容

① 駐車場の使用料

地上駐車場の使用料について、1区画につき月額 1,100 円を徴収することとした。

② 卸売市場法の改正に伴うもの

食料供給に必要な費用が増加する中、取引価格への反映が難しい状況である。



取引の適正化を目的として、

1. 飲食料品等を扱う事業者に対し、取引における努力義務を策定
2. 費用を認識しにくい品目を農水省が指定
3. 取引時の協議に活用できるよう、コスト指標を農林水産大臣が認定した団体が作成し公表

卸売市場においては、以下の事項について公表を行うこととなった。

- 事業者が実施する努力義務の内容
- 指定飲食料品(当市場は野菜、豆腐、納豆が該当)
- コスト指標(資料4-2)

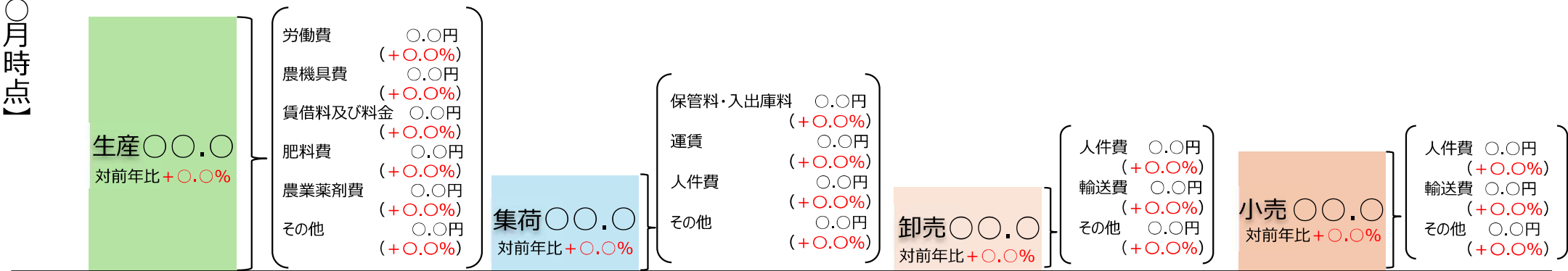
③ 条ずれの修正、文言の整理

コスト指標のイメージ（案）

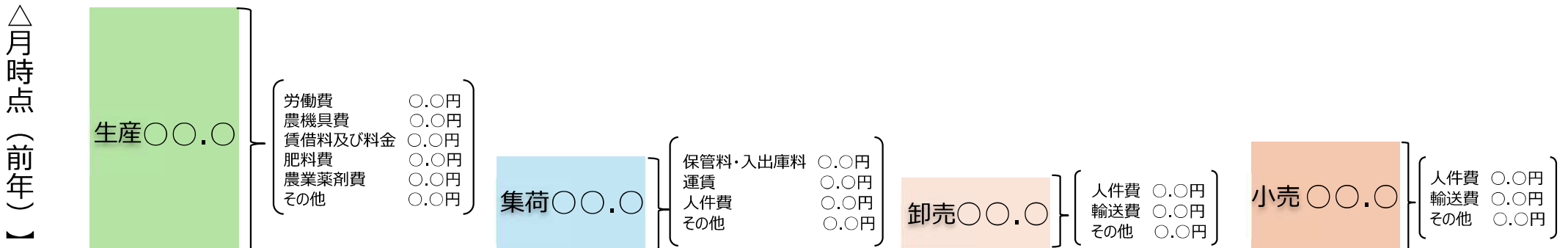


※本イメージ図は、仕入れ原価以外の費用を示すもの

【令和〇年〇月時点】



【令和△年△月時点（前年）】



令和8年 休開市日

静岡市中央卸売市場

営業日数(251日) (青果部247日) (水産物部251日)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

凡例  は条例上の休業日 (69日)  は臨時休業日 (45日)  は臨時開場日 (2日) ☆青果部のみ臨時休業日 (4日)